

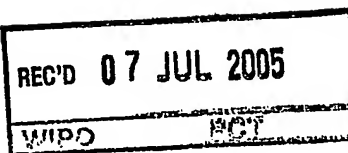
特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

〔PCT36条及びPCT規則70〕



出願人又は代理人 の書類記号 04R00130	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/003983	国際出願日 (日.月.年) 23.03.2004	優先日 (日.月.年) 26.03.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ G09G3/36, G02F1/133		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. ☒ 附属書類は全部で 12 ページである。

☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）

☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. ☐ 電子媒体は全部で _____（電子媒体の種類、数を示す）。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎

☒ 第II欄 優先権

☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成

☒ 第IV欄 発明の単一性の欠如

☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明

☐ 第VI欄 ある種の引用文献

☐ 第VII欄 国際出願の不備

☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 10.12.2004	国際予備審査報告を作成した日 28.06.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 西島 篤宏	2G 9308
電話番号 03-3581-1101 内線 3226		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第 I 欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-68 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1-2, 7-9, 11-14, 17-19, 21-24 _____ 項*、10. 12. 2004 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 1-19 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 3-6, 10, 15-16, 20 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 1-2, 7-9, 11-14, 17-19, 21-24

理由:

☐ この国際出願又は請求の範囲 _____ は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 _____ の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 _____ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☒ 請求の範囲 1-2, 7-9, 11-14, 17-19, 21-24 _____ について、国際調査報告が作成されていない。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

☐ 提出されていない。

☐ 所定の基準を満たしていない。

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

☐ 提出されていない。

☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

請 求 の 範 囲

1. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶
5 テレビジョン受像機であって、

前記液晶テレビジョン受像機は、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

さらに、入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該
10 第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する信号種別検出手段と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する強調変換手段と、

装置内温度を検出する温度検出手段と、

複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期
15 間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリとを備え、

前記強調変換手段は、前記信号種別検出手段による検出結果によって定められた切換温度と前記温度検出手段の検出結果との比較結果に応じて、前記テーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用
20 いて、前記画像データに強調演算を施す演算部を有する液晶テレビジョン受像機。

2. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶

テレビジョン受像機であって、

前記液晶テレビジョン受像機は、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

さらに、入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該
5 第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する信号種別検出手段と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する強調変換手段と、

装置内温度を検出する温度検出手段と、

複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期
10 間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリとを備え、

前記テーブルメモリの一部または全部は、各信号種別がいずれの場合にも参照可能であり、

前記強調変換手段は、前記信号種別検出手段による検出結果と、前記
15 温度検出手段の検出結果とに応じて、前記テーブルメモリのいずれかを切り換え参照し、参照されたテーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに対する強調変換処理を行う液晶テレビジョン受像機。

3. (削除)

20 4. (削除)

5. (削除)

6. (削除)

7. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変

換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶テレビジョン受像機であって、

前記液晶テレビジョン受像機は、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

- 5 さらに、入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する信号種別検出手段と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する強調変換手段と、

装置内温度を検出する温度検出手段と、

- 10 現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリとを備え、

前記強調変換手段は、

前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す演算部と、

- 15 前記演算部の出力データに対し、前記信号種別検出手段による検出結果と前記温度検出手段の検出結果とに応じて、異なる係数を乗算する乗算部とを有する液晶テレビジョン受像機。

8. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変

- 20 換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶テレビジョン受像機であって、

前記液晶テレビジョン受像機は、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

さらに、入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該

第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する信号種別検出手段と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する強調変換手段と、
装置内温度を検出する温度検出手段と、

5 前記入力画像データが第1の放送方式の映像信号である場合に参照する、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリと、

前記入力画像データが第2の放送方式の映像信号である場合に参照する、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリとを備え、
10

前記強調変換手段は、

前記信号種別検出手段による検出結果に応じて、前記テーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す演算部と、

15 前記演算部の出力データに対し、前記温度検出手段の検出結果に応じて異なる係数を乗算する乗算部とを有する液晶テレビジョン受像機。

9. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶
20 テレビジョン受像機であって、

前記液晶テレビジョン受像機は、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

さらに、入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映

像信号であるかの信号種別を検出する信号種別検出手段と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する強調変換手段と、

装置内温度を検出する温度検出手段と、

5 前記入力画像データが第1の放送方式の映像信号である場合に参照する、複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリと、

10 前記入力画像データが第2の放送方式の映像信号である場合に参照する、複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリとを備え、

15 前記強調変換手段は、前記信号種別検出手段による検出結果と前記温度検出手段の検出結果とに応じて、前記テーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す演算部を有する液晶テレビジョン受像機。

10. (削除)

11. (補正後) 請求項1または2に記載の液晶テレビジョン受像機であって、

前記強調変換パラメータの切り換え選択を制御する制御手段を備え、

20 前記制御手段は、

前記温度検出手段により検出された温度データに対して、前記入力画像データの信号種別毎に定められた所定の演算を施す演算部と、

前記演算部により演算が施された温度データと、予め決められた所定の閾値温度データとを比較する閾値判別部と、

前記閾値判別部による比較結果に応じて、前記強調変換パラメータを切り換え制御する切換制御信号を生成する制御信号出力部とを有する液晶テレビジョン受像機。

12. (補正後) 請求項1または2に記載の液晶テレビジョン受像機であって、

前記強調変換パラメータの切り換え選択を制御する制御手段を備え、
前記制御手段は、

前記温度検出手段により検出された温度データと、前記入力画像データの信号種別毎に決められた所定の閾値温度データとを比較する閾値判別部と、

前記閾値判別部による比較結果に応じて、前記強調変換パラメータを切り換え制御する切換制御信号を生成する制御信号出力部とを有する液晶テレビジョン受像機。

13. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶表示制御方法であって、

前記液晶表示パネルは、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する工程と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する工程と、

装置内温度を検出する工程と、

複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリを参照する工程と、

前記信号種別の検出結果によって定められた切換温度と前記装置内温度の検出結果との比較結果に応じて、前記テーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す工程とを有する液晶表示制御方法。

14. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶表示制御方法であって、

前記液晶表示パネルは、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する工程と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する工程と、

装置内温度を検出する工程とを含み、

前記強調変換する工程は、複数の装置内温度毎に対応して設けられ、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリであって、それらの一部または全部は、各信号種別がいずれの場合にも参照可能なテーブルメモリのうちのいずれかを、前記信号種別検出手段による検出結果と、前記温度検出手段の検出結果とに応じて切り換え参照し、参照されたテ

ブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに対する強調変換処理を行う液晶表示制御方法。

15. (削除)

16. (削除)

5 17. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶表示制御方法であって、

10 前記液晶表示パネルは、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する工程と、

15 前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する工程と、

15 装置内温度を検出する工程と、

現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリを参照する工程と、

前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す工程と、

20 前記演算による出力データに対し、前記信号種別の検出結果と前記装置内温度の検出結果とに応じて、異なる係数を乗算する工程とを有する液晶表示制御方法。

18. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調

変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶表示制御方法であって、

前記液晶表示パネルは、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

- 5 入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する工程と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する工程と、

装置内温度を検出する工程と、

- 10 前記入力画像データが第1の放送方式の映像信号である場合に参照する、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリを参照する工程と、

- 15 前記入力画像データが第2の放送方式の映像信号である場合に参照する、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリを参照する工程と、

前記信号種別の検出結果に応じて、前記テーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す工程と、

- 20 前記演算による出力データに対し、前記装置内温度の検出結果に応じて異なる係数を乗算する工程とを有する液晶表示制御方法。

19. (補正後) 少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶表示制御方法であって、

前記液晶表示パネルは、複数の放送方式の画像データを表示可能であり、

入力画像データが第1の放送方式の映像信号であるか、当該第1の放送方式の映像信号とは垂直周波数の異なる第2の放送方式の映像信号であるかの信号種別を検出する工程と、

前記画像データを階調遷移方向へ強調変換する工程と、

装置内温度を検出する工程と、

前記入力画像データが第1の放送方式の映像信号である場合に参照する、複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリを参照する工程と、

前記入力画像データが第2の放送方式の映像信号である場合に参照する、複数の装置内温度毎に対応して、現垂直期間の画像データと1垂直期間前の画像データとから指定される強調変換パラメータが格納されたテーブルメモリを参照する工程と、

前記信号種別の検出結果と前記装置内温度の検出結果とに応じて、前記テーブルメモリから読み出される前記強調変換パラメータを用いて、前記画像データに強調演算を施す工程とを有する液晶表示制御方法。

20. (削除)

21. (補正後) 請求項13または14に記載の液晶表示制御方法であって、

前記装置内温度の検出結果である温度データに対して、前記入力画像データの信号種別毎に定められた所定の演算を施す工程と、

前記演算が施された温度

日本国特許庁 10.12.2004

78/1

データと、予め決められた所定の閾値温度データとを比較する工程と、

前記比較の結果に応じて、前記強調変換パラメータを切り換え制御する切換制御信号を生成する工程とを有する液晶表示制御方法。

22. (補正後) 請求項13または14に記載の液晶表示制御方法であって、

前記装置内温度の検出結果である温度データと、前記入力画像データの信号種別毎に決められた所定の閾値温度データとを比較する工程と、

前記比較の結果に応じて、前記強調変換パラメータを切り換え制御する切換制御信号を生成する工程とを有する液晶表示制御方法。

23. (補正後) 複数の放送方式の画像データを表示可能で、しかも、少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを、前記液晶表示パネルが所定期間内において前記画像データの定める透過率となるように強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶テレビジョン受像機を制御するコンピュータのプログラムであって、

請求項13、14、17、18または19記載の各工程を、上記コンピュータに実行させるプログラム。

(補正後)
24. 複数の放送方式の画像データを表示可能で、しかも、少なくとも1垂直期間前の画像データと現垂直期間の画像データとに基づいて、液晶表示パネルへ供給する画像データを、前記液晶表示パネルが所定期間内において前記画像データの定める透過率となるように強調変換することにより、前記液晶表示パネルの光学応答特性を補償する液晶テレビジョン受像機を制御するコンピュータのプログラムが記録された記録媒体であって、

78/2

上記プログラムは、請求項13、14、17、18または19記載の各工程を、上記コンピュータに実行させるプログラムである記録媒体。